

【第4回みたけ保育園三者懇談会】

- ◆ 日 時 平成28年6月25日（土） 10時～11時00分
- ◆ 場 所 みたけ保育園とまと組保育室
- ◆ 出席者 みたけ保育園保護者 14人
- ◆ 内容等
保 ⇒ 保護者
法 ⇒ 社会福祉法人岩手県同胞援護会
市 ⇒ 盛岡市

盛岡市，社会福祉法人岩手県同胞援護会出席職員紹介

○ 引継保育を開始しての感想等意見交換

〔質疑応答〕

保 4月から入所した。(保護者が)平日休みの時，子どもを保育園に預けにくい雰囲気がある。預けてはいけないのかなと思った。

市 来ない方がいいということはない。保護者の都合もあると思うので，預けていただいて構わない。職場にいない時は所在を明らかにしていただき，何かあった時に連絡が取れるようにしておいていただければ大丈夫。

保 前より職員との距離が近くなった感じがする。

保 今は普段と変わらないような生活を送っているが，どうしても付き合いが長い先生に子どもがついていく。今はまだ先生たちが変わらずいるが，10月にまた新たな引継ぎ保育士が入り，そこからまたどういう風が変わっていくか，そして4月に職員が大幅に変わってどうなっていくかというところが不安。

市 10月に引継ぎ保育士の増員があり，4月に移管し，法人の職員となるという段階を踏んで，変わっていく。しっかりと引継いでいけるような体制をつくっていききたい。

保 10月から引継ぎ保育士が増員されるが，今いる職員は残ったままか。

市 職員の中にも正職員・非常勤職員・臨時職員がおり，臨時職員の中では任用期間がそこで切れる人もいる。

保 担任の先生が変わったりするのか。

市 現在のみたけ保育園では，正職員が1名から2名，各クラスの保育リーダーとしてついている。そこの配置については10月以降も変更はない。ただし，臨時保育士については新たに来る

引継ぎ保育士と入れ替わりで、任用期間が9月末で切れる方もいるので、若干変更はある。子どもたちの気持ちを一番に考えて、職員の入替わりのところは考えていきたい。子どもたちのことを十分に引き継いでいくよう職員間で周知していく。

保 どの先生がいなくなるのかわからない。もしわかっているのであれば教えてほしい。

市 今後の職員配置が決まり次第、お知らせできるところはしていきたい。9月の三者懇談会で新しい引継ぎ保育士の紹介もあるが、もっと前に決定したことはあらかじめお知らせしていきたい。

保 年中(4歳児)クラスは1歳児クラスからずっと同じ先生で持ち上がってきたクラスである。今年度になって、朝クラスに入りにくい子、親から離れにくくなった子もいるようだ。子どもが落ち着かない感じもある。慣れていない先生が入ったことで、いつもと違う雰囲気を感じて、不安になっている子もいると思う。子どもの心のケアを丁寧にしてほしい。

市 これまでの職員会議等で各クラスの様子については報告があり、4歳児クラスについては来年度年長組として新しいみたけ保育園へ移るということもあり、朝離れがたかったり、登園を渋ったりとか、慣れた先生から離れないお子さんもいると認識している。そのことは職員間でも話し合い、情報共有してきた。どのようにしていったら来年度にうまくつながられるか、どういう体制が必要なのか、また、子どもたちにとってどのような職員配置が必要なのかというところを職員間で話し合っ、検討しているところである。日々の様子が保護者に伝え切れていなかったことは反省している。保育参観や日々のホワイトボードの掲示、おたより等で、全体の情報発信はしていたが、もっと個別に丁寧に細かく伝えていくことが、より今年は求められていると感じた。職員間に周知して、具体的にどのような方法を取っていったらよいかを検討していきたい。

保 祖母がお迎えの際に感じたこととして、「園児少なくなった?」と言われた。保育園が静かになって、活気がなくなったようだ。それは何か引継保育に関係しているのかなと思った。前はもっと自由にホール等で遊んでいたように見えた。

保 平日に仕事が休みの時に子どもを預けるのは勇気がいる。親としても心苦しいが、もっと臨機応変に対応してほしい。

市 保護者の状況に合わせて、臨機応変に対応していきたい。

保 兄弟の小学校運動会の時に子どもを保育園へ預けたかったが、保育士によって対応が違い、結局子どもは預けなかった。自分で自分の子どもを見るのがベストとわかっているが、一律に園ではあずからないと決めないで、状況を考えてもらいたい。

市 他の保育園の話でもそのような意見は聞く。そこは園の判断で実施しているものと思うが、一律にルールとして決めてしまっているところも中にはあると認識している。保護者の意見を聞きなが

ら対応していくのが良いと思うので、一つの課題としてとらえて、今後いろいろと検討していきたい。

保 以前は母の日や父の日に子どもが描いた絵を近くのスーパーに飾っていたが、今年はなかった。引継保育で忙しかったからか。

市 例年あったスーパーからの依頼が、今年はなかったので各クラスの活動のみで取り入れたもの。

○ 今後のスケジュールについて

法 建設業者は東野建設工業に決定し、6/16に市から補助金の内示を受け、6/23に契約した。

新しい園舎の詳細設計ができた。平面図をご覧いただきたい。発達支援児ルームを設け、支援児がパニックを起こした時等に対応できるようにした。その隣の保健室では病児保育の体調不良児対応型を考えている。ただし、これは市の委託事業として認められる必要があるので、今後市と協議していく。地域子育て支援センターは青山保育園から移設して実施する。そこには相談室を設けて、個別の相談にも対応できるようにした。授乳室も設置する。

園庭部分について。砂場は、以上児と未満児の遊び方の違いに対応できるよう、2つ作る予定。プールは夏場に組み立て式のプールを設置する。築山の隣の遊具は木製で築山と連動して遊べるようにしようと考えている。保護者説明会の際に要望のあった畑も予定している。畑づくりには保護者の方々のご協力をお願いするかもしれない。

また、現在引継ぎ保育士で入っている保育士1名を人事都合により9月末で引き上げるので、実際には10月から新たに4名の引継保育士を派遣することとなる。保護者の方々にはせっかく慣れてきたところで申し訳ないが、ご理解のほどよろしくをお願いしたい。

〔質疑応答〕

保 園庭がある方が公園側か。

市 そのとおり。支援センター側がお寺側。

保 大きな行事の時は自動車で来る保護者も多いと思うがどのように対応するのか。自転車置き場はあるか。

法 大きな行事の際は、同法人の青山保育園が近いのをメリットと考えて、お互いやり取りしたい。近くの公共施設の駐車場を借りることも想定している。

自転車置き場は少し確保しているが、足りなければ駐車場となっているところを少し自転車置き場に変更するなどを考えていきたい。

保 段差等について、バリアフリーには対応しているか。子どものこともあるが、祖父母が来園す

ることもある。

法 玄関にスロープを設けたほか、ほとんど段差はない形になろうかと思う。また、障がい者用のトイレも設置する。

保 建材については子どもに害のないものを使用しているか。

法 このくらいの規模になると通常は鉄筋コンクリート造となるが、今回は基本的に木造で建築する。

保 トイレは全部洋式か。小学校は和式のトイレなのでトレーニングが必要となる。今のみだけ保育園は和式なのでスムーズに小学校に対応できた。

法 基本的には洋式でも、和式のトイレトレーニングは可能なので、対応できるようにはしていく。

保 0歳児は通常の出入り口から保育室が遠い。また、支援センターの近くに車を停めた時に園をぐるっと周らないといけなくなる。支援センターの出入り口を使わせてほしいと以前要望していたが。

法 確かに保護者の目からすると、小さい子の保育室が出入り口から近い方が良いだろうという話はあるが、0歳児室は感染症の関係からすると、出入り口の近くは好ましくないということがあるので、出入り口から遠いところに配置した。ただし、状況に応じて、支援センターの玄関からも入れるように検討させていただく。支援センター用出入り口なので閉める、ということにはしない。

○ 引継保育に関するアンケートの実施について

〔質疑応答〕

保 くろいしの保育園のアンケート結果は出ているのか。

市 結果は出ており、市のホームページでも公開している。アンケート結果としては、移管後の保育園と保護者の関係について不安とする回答が多かった。

保 実際に移管して何年目かの保育園のアンケートもあるのか。

市 移管後も保護者アンケートを実施しており、その結果等もホームページ等で公開している。

○ その他

〔質疑応答〕

保 支援が必要な子に対する移管後の職員の加配はどうなるのか。

法 市の発達審査会の結果を受けて、対応を考えていきたい。それに見合った形での人員配置を考える必要がある。青山保育園でも現在3名の支援児がいる。主担当を決めて、チームで保育している。保護者とも情報共有しながら、園長や保育士が話し合っって個別に支援児用の計画をたて、それに沿って保育していく。